



防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用

国のGIGAスクール構想により、子供たちの学びに1人1台端末が導入され、まもなく3年。仕事でも家庭でもあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっており、これからの時代を生きる子供たちにとっても、タブレット端末は鉛筆やノート並ぶマストアイテム「文具」になりました。文科省では、「多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ」ということでICT活用を推進しています。本市では、今年度も防衛省からの交付金を、①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実から教育効果の可視化まで1つのソフトで完結できるソフト「ミライシード」、②ネット環境がない場所でも通信が可能となる「ドングル」、③「大判プリンタ」、④「プロジェクタ」に充てさせていただいております。

では、全国の小中学生の約334万人以上が活用している（Benesse HPより）という「ミライシード」とは、どのようなものなのでしょうか。本校において使用頻度の高い「オクリンク」と「ドリルパーク」について紹介します。

授業支援ソフト<オクリンク>

- ①カードに、文字、イラスト、画像、動画等を用い、自分の考えを表現する。<個別最適化>
 - ②作成した複数枚のカードの並べ替えや削除・追加をし、考えを順序立てる。<個別最適化>
 - ③カードを用いて、友達と考えを共有することにより、協働的に学び合ったり考えを広げたりする。<協働的な学び>
- ※クラス全体で考えを共有したり、先生にカードを提出することもできる。



♪南っ子の声

カードに絵を描いたり文字を入力したり、自由に思いを表現できて楽しいです。

自分でカードを作って、みんなの前で発表するのが好きになりました。

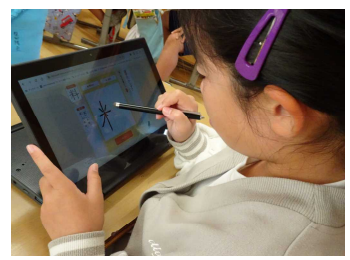


紙だと書き直すのが大変だけど、タブレットだと消すのも簡単だから、納得がいくまで何度でもやり直そうという気持ちになります。

一目でクラス全員の考えを見ることができるから便利です。

個別学習ドリル<ドリルパーク>

- ・個々に合ったレベルとペースで進めることができる。
- ・下学年の内容で復習、上学年の内容に挑戦もできる。
- ・ベーシックドリルは基礎・基本、パワーアップドリルは思考力・判断力・表現力に対応している。
- ・自動採点、即時フィードバックをしてくれる。



♪南っ子の声

○×がすぐに分かるから便利です。紙ドリルを先生に提出したり、返却まで待たたりしなくても済みます。

解き終わるともらえるポイントを貯めたくて、がんばっています。

自分が苦手な内容は、下の学年に戻って学習するようにしています。

私は英語が得意です。だから中学生の英語の問題にチャレンジしています。



ICTは、I（いつでも）、C（近くで）、T（助けてくれる）機器。従来からある教育と新しい教育をベストミックスさせ、豊かな学びを実現していきます。